

犬の催吐処置 2026

「催吐＝点眼」の時代になるのか、それとも…？

TRVA動物医療センター 塗木 貴臣

誤飲誤食は交通事故と全く同じと考える

異物

中毒

異物でも中毒でも！

最も一般的に行われているのが催吐処置



イヌの吐かせかた

催吐処置は目的と適応が大切

目的

胃内の物質の排出

適応

胃内に異物が残存

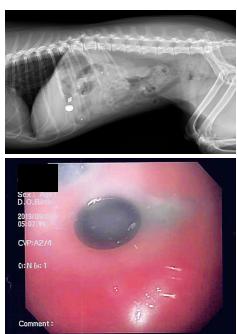
吐かせるリスクが低い

適応外

患者側	頻回嘔吐
	意識レベル低下 喉頭麻痺 巨大食道症
誤食物	腐食性毒物（強酸、強アルカリ） ：電池、漂白剤など
	炭酸水素毒物 ：ガソリン、灯油など 先端が鋭利なもの ：竹串、ピック、縫い針など

3

4



電池による粘膜障害

磁石も危ない！ってこと、知ってましたか？



1歳 ヨーキー
子供のおもちゃ
の誤食



3歳 ヨーキー¹
磁石のおもちゃ
の誤食

胃と大腸の穿孔による開腹手術

術後4日目に退院

食道と胃の穿孔による開腹/開胸手術

術後48時間で斃死

5

6

時間が経っていても催吐を検討すべきケース



- ・チョコレート
- ・キシリトール
- ・ぶどう、レーズン
- ・大量誤食

7

犬の催吐処置 何で吐かせてる？



主に関西の獣医師 162名（2021年）

webでのアンケート調査（2024）

第1位 トラネキサム酸

第2位 アポモルヒネ

第3位 ロピニロール

全国の獣医師/看護師 154名（2024年）

入江 実津ら、日獣会誌（2021）

8



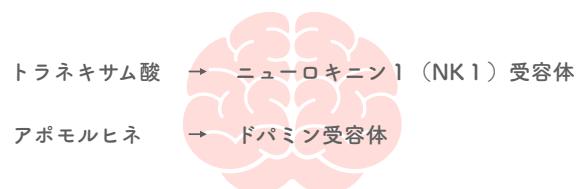
トラネキサム酸



アポモルヒネ

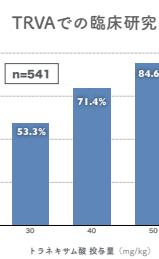
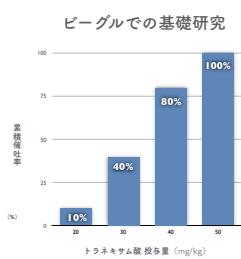
9

トラネキサム酸もアポモルヒネも
脳に効くから吐くんです！
(CTZ→嘔吐中枢)



10

トラネキサム酸を急速静脈投与する



11

トラネキサム酸で副作用を経験しましたか？



webでのアンケート調査（2024）

第1位 経験なし（53.2%）

第2位 痙攣（33.1%）

第3位 嘔吐/流涎の持続

21:11 トランサミンで催吐処置

21:14 嘔吐（計2回）

21:18 流涎、痙攣発作

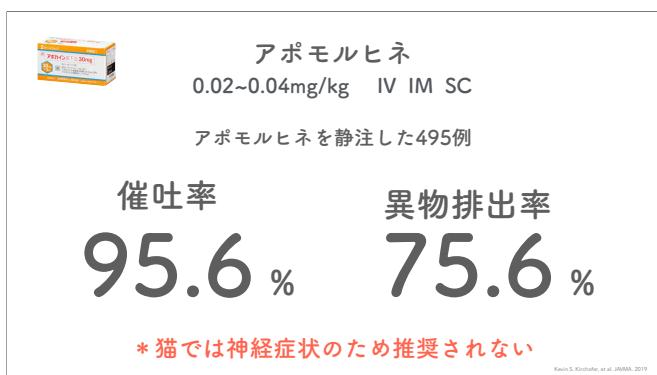
12



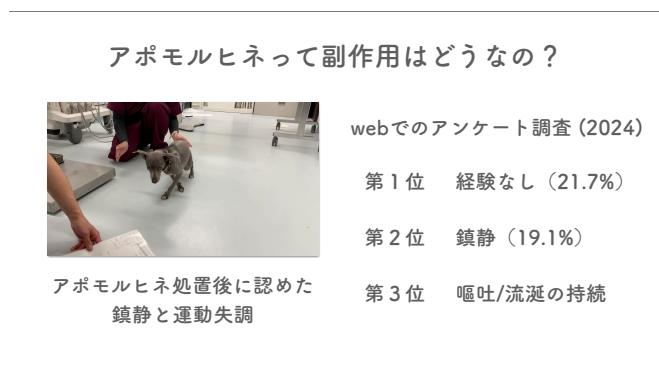
13



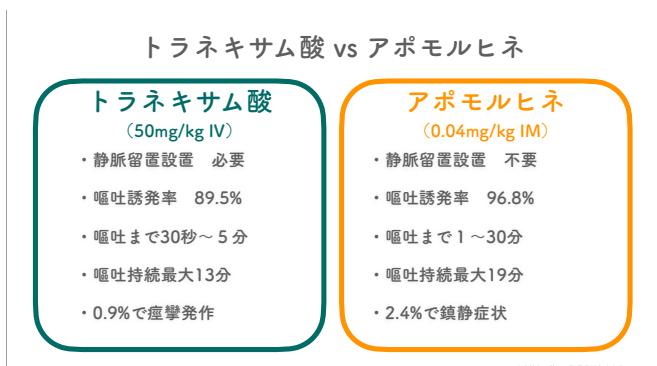
14



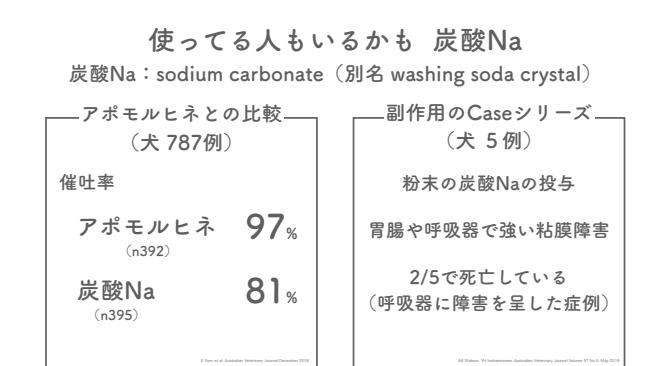
15



16



17



18

炭酸Naの経口投与による催吐処置

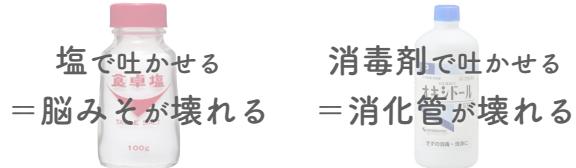
(新潟県5つの動物病院 105例)

小型犬：0.5g/頭 中型犬：0.5-1.0g/頭

催吐率：91%

嘔吐までの時間：66.5秒 嘔吐持続時間：60-120秒

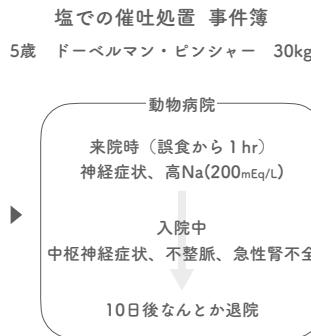
副作用：1.9%で呼吸促迫、0.9%で一過性起立困難



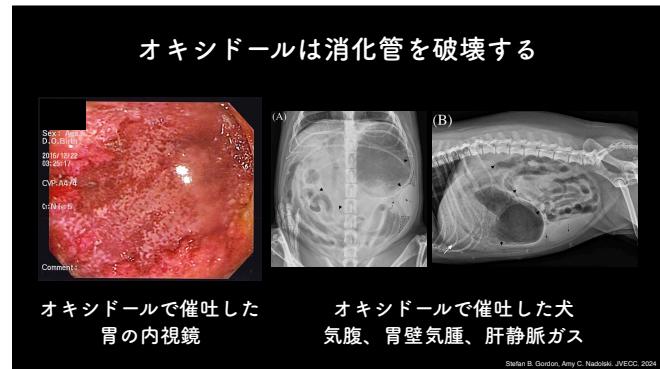
小田ら、犬の催吐处置における炭酸ナトリウムの可能性。JVET中部地区医師会大会

19

20



21



22



23

クレボル
商品名：Clevor

ロピニロール 30mg/ml
(D2受容体作動薬)

24

4.5ヶ月例 < 1.8kg <

使い方は超簡単！

BW (kg)	滴数	投与例
1.8-5	1	1滴 片目
5.1-10	2	1滴 両目
10.1-20	3	2滴 片目 1滴 片目
20.1-35	4	2滴 両目
35.1-60	6	2滴 両目 2分後に1滴 両目
60.1-100	8	2滴 両目 2分後に2滴 両目

25

ロピニロールとアポモルヒネ

	ロピニロール	アポモルヒネ
D受容体選択制	高い	適度
投与経路	点眼	SC, IM, IV
拮抗薬	メトクロプラミド ナロキソン	

Enroking 2019; 8:J.7 Apomorphine 2015

27

色んな投与でのアポモルヒネ vs ロピニロール@大学ER

ERを想定して10分 \geq の効果を比較

薬剤	催吐率	初回嘔吐
APO IV	88%	105秒
APO IN	72%	300秒
ロピニロール	56%	540秒
APO SC	24%	データ不十分
APO TC	16%	データ不十分

Sabrina R. Manley, et al. JAVMA 2024

29

100匹の犬でClevor使用してみた 30分以内に95%の犬が嘔吐

(96%のオーナーが使用は簡単だったと評価)

論文

アンケート (2024)

成績群	供試薬に接觸すると判定された有害事象	
	発現数(累積合計)	発現率(%)
クレボル(n=100)	頭痛 5 他の異常* 3 下痢 2 飼育状況 1 肝臓異常 1	12(12%)
プラセボ(n=32)	贫血 1	1(3.1%)

Mirina Sudkoo, et al. Vet Rec. 2020

26

ロピニロール
279例の犬（異物129、中毒150）で催吐処置を実施
催吐率 91.4%（単回または追加2回目）
嘔吐までの時間 11分（50%の犬で11-18分）
副作用発現率 17%（全て自然回復）
全ての異物/毒物の排出率 74.2%

Natalie A. Rosenstein, et al. JAVMA. 2023

28

催吐処置でチェックすべきこと



- ✓ 本当に吐かせて大丈夫か？
- ✓ 吐かせるならリスクの低い方法で
- ✓ 選択した処置のリスクを把握しておく

30

